

公園の概要及び社会実験等の予定について

◆宍道総合公園の概要

宍道総合公園は宍道町のほぼ中央に位置し、宍道地区中心部から約2km、来待地区からは約3kmの山間丘陵地にあります。また、空港や駅、高速道路のインターチェンジが近くにあるなど交通の利便性が良い立地となっています。

- ・公園種別： 都市公園（総合公園）
- ・公園面積： 15.9ha（うち古墳の森：4.3ha）
- ・主な施設： 野球場、少年広場、テニスコート、芝生広場、管理棟、多目的広場、駐車場、古代生活体験の広場、ケビン、炊事棟、トイレ
- ・供用開始概要： 多目的広場、駐車場等（昭和58年3月）
管理棟、芝生広場、テニスコート等（昭和59年3月）
野球場、駐車場等（昭和60年3月）
古墳の森→広場、ケビン、炊事棟（平成2年4月）
- ・駐車場台数： 190台（管理棟前106台、一塁側24台、古墳の森側60台）

◆古墳の森の状況

- ・弥生時代から古墳時代にかけて作り続けられたと言われる水溜古墳群の一部を再現したり、広場ではバーベキューや宿泊（ケビン）ができる施設が整備されました。（公園内には4基の古墳あり）
- ・整備から30年以上が経過して施設の老朽化が進み、年々利用者は減少していました。
- ・ケビンは老朽化のため宿泊を停止し、利用者の荷物置きとして利用していました。（利用件数は年間2～6件）

【古墳の森 ケビンの利用状況】

年度	H28	H29	H30	R元	R2
件数	3	3	2	6	1
人数	14	73	10	88	2

- ・広場の除草や清掃、樹木剪定、トイレ清掃は委託して行っていますが、古墳のある区域は数年間除草が行えていませんでした。

◆社会実験の予定

【経過】

管理が行き届かないため防犯上の問題など、公園のあり方について課題となっていたところ、地元のアイディアによる公園をサバイバルゲームのフィールドにすることで、新たな利活用方法や民間活力導入の可能性を検討する社会実験として行うことにしました。

なお、都市公園をサバイバルゲームフィールドにするのは島根県初であり、フィールドの広さは西日本最大規模の広さです。（約2ha）

【実験運営者】

瑞風とまちづくりの会

【期待されるもの・メリット】

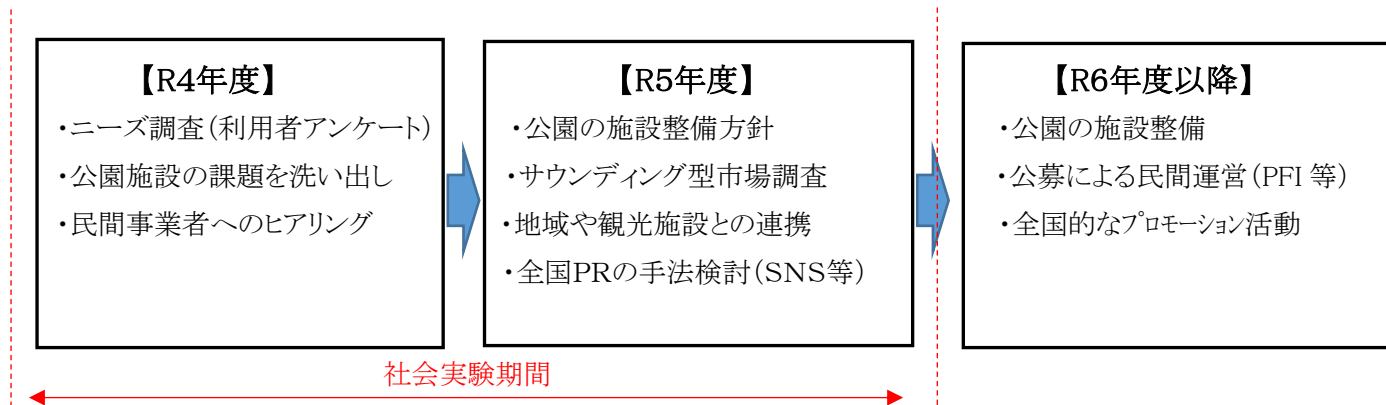
- ・公園が新たな地域拠点に（新たな拠点の発掘）
- ・全国へのPRで県内外から集客（観光振興への効果）
- ・地域の賑わい・活性化（多様な交流）
- ・公園利用の増加（利用環境の向上）
- ・民間活力の導入（効率的な維持管理）

【実験期間】

令和3年11月28日から令和6年3月31日（約2年半）

◆公園協議会の今後の予定

公園協議会では、下記のことに取り組み検討を進めていきます。



アンケートの回答イメージ

